

## 新聞紙エコバッグの制作と利用

フラワーファクトリ科 園芸デザイン部 2年 阪本美織・佐藤こころ

園芸デザインクラブでは、花壇苗を育て販売している。この苗をプレゼントする際におしゃれに装飾出来ないかと考えてきたが、新聞紙を利用してバッグが作れる事を知った。新聞紙でバッグを作り、花壇苗をおしゃれにプレゼントする事に挑戦したいと考えた。

**新聞紙エコバッグ**は2002年に高知県で「最後の清流と言われる四万十で、野菜や特産品をビニール製のレジ袋で包むのは似合わない。これからは新聞で包もう！」という提案で、流域に住む主婦・伊藤正子さんが考案した。この『四万十川新聞バッグ』は、2005年に開催された海外向けの商品コンペで、四万十川産のお茶ペットボトル3本を新聞バッグに入れて持参したところ、バイヤーはお茶ではなくバッグに食いつき、その後ボストンのミュージアムショップから大量の注文が入り、ニューヨークやイギリスの美術館にも輸出するようになったという。現在も本が出版され静かなブームとなっている。



### 新聞紙エコバッグの制作

新聞紙を利用して、一番基本となるエコバッグ作り挑戦した。約1時間程でエコバッグが作れた。収穫できた野菜や草花を持ち帰ったりプレゼントをする際に利用できるものができたと考える。

制作風景



### 新聞紙エコバッグの利用



花苗

+



新聞紙エコバッグ



プレゼントに利用

ケースに入れた花苗を、新聞紙エコバッグを利用すると、素朴だけれど暖かい写真の用なものできた。プレゼントしても利用が可能である。

### まとめ (今後の課題)

今回は、一つパターンのみ制作を行った。3号今後はポリポットを利用する事を目的にした為である。その他の大きなポット・鉢に利用できるエコバッグ作りに挑戦したい。

またこのバッグは新聞紙を利用している為に、水に大変弱い。バッグの内に防水資材を使用する等の改良点が必要である。新聞紙を使ったエコバッグである事を前提に改良を行いたい。

